



健康サポートセンターだより

2018.4 Vol.9
健康サポートセンター発行
発行責任者 内藤 義彦

4月は年度の変わり目に当たり、新入生・在学生の皆さんにとって、新しい科目や実習、ゼミなど、これまでとは異なった生活が始まります。そんな緊張感の中で、だるさや無気力感などの不調を訴える人がいます。五月病とか単に緊張や疲労、睡眠不足と片付けられることもありますが、なかには甲状腺の病気が潜んでいる可能性（特に女性）もあります。今回は、健康サポートセンター顧問の森山賢治先生に甲状腺の病気についてまとめていただきました。

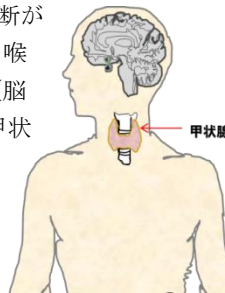
『女性に多い、甲状腺の病気のお話』 健康サポートセンター顧問 森山賢治

甲状腺の病気はまずは気づくことから始まります。だからこそ健康診断が大切なのです。そして検査と治療を受ければ怖くありません。甲状腺は、喉頭（のどぼとけ）付近にあり、蝶々のような形をしています（図）。脳（脳下垂体）からの影響を受けて、新陳代謝を活発にする物質＝ホルモン（甲状腺ホルモン）を分泌しています。この甲状腺ホルモンの分泌量が変化したり、出来物（腫瘍のこと。良性腫瘍がほとんどですが、これらをすべてまとめて腫瘍と言います）ができたり、一過性の痛みが起きたりするものが甲状腺の病気です。病気の種類は、大きく3つに分けることができますが、いずれも女性に多いのが特徴です。

機能の変化（ホルモンの分泌量が変化する）として、可能性は少ないものの発症すると治療に時間や労力を必要するのがバセドウ病です。バセドウ病は、甲状腺の機能が亢進（こうしん＝過度に高まること）してホルモンの分泌が過剰になりますが、その原因は不明です（免疫が関係する疾患と考えられています）。特徴的な症状は、汗が多い、食欲が高まる、食べているのにやせる、動悸（ドキドキすること）、頸部（喉、甲状腺あるところ）の腫れ、眼球が飛び出て見えることなどが主な症状です。

それとは逆に、甲状腺ホルモンの分泌量が足りなくなるのが橋本病です。ほとんどの場合（但し、妊娠期間は除く）、治療は必要ではありません。橋本病も自身の免疫（自己免疫疾患）が関与することが原因と考えられています。治療が必要にもかかわらず放置することで、むくみ、だるさ、無気力（なまけ病と言われることも）、勉強ができない、体重増加、眉毛の脱毛などが主な自覚症状になります。

甲状腺にも腫瘍ができることがあります。9割は、特に治療の必要のない良性の腫瘍です。でも、あるかどうかわかりませんよね？ ではどうしたら良いか？ それは健康診断を受けることです。甲状腺の機能の変化や腫瘍では、徐々に変化することで自覚症状はほとんどありませんし、通常の血液検査でも異常は出ません。だからこそ健康診断で内科診察を受けることが大切と言えるのです。



健康相談

健康に関する相談を随時受け付けています。気軽に来室してください。また、内科医師による健康相談も行っています。（要予約制）

＜婦人科医師(女性)による健康相談＞
毎月 第4木曜日

15:00～17:00

（要予約制）



武庫川女子大学クリニック

センター内にあるクリニックで医師による診療が受けられます。薬の処方、血液検査、各種予防接種、抗体検査なども可能です。診療日時は、健康サポートセンターホームページ、掲示で確認ください。

※受診時には「健康保険証」を持参して下さい。



応急処置

体調がすぐれない人のために休養室を設けています。また、急に気分が悪くなったり、ケガをした時は、応急処置をします。その場から動けない時は迎えに行きますので連絡してください。

測定



健康の自己管理のために様々な測定機器を設置しています。

- ★自動身長体重計、血圧計、視力計
- ★InBody（体成分分析装置）
筋肉量や脂肪量、体脂肪率などを測定します（※中央キャンパスのみ）
- ★骨密度測定器（※中央キャンパスのみ）
超音波で踵の骨密度を測定します。
- ★アストリム（※中央キャンパスのみ）
採血をせずに血液中のヘモグロビンを推定します。

2018年度 学生定期健康診断のお知らせ

前半・・・4月5日(木)～4月19日(木) 後半・・・5月11日(金)～6月7日(木)

○学生定期健康診断は、学生規程第5章第18条により受診が義務づけられています。

- ・各クラスの健診日が授業や就職活動と健康診断の日程が重なっている場合は、**健康サポートセンターの窓口(薬学部は健康サポートセンター薬学部分室)**で変更手続きをしましょう。
- ・胸部レントゲンの再検査や内科検診で医師より精密検査の指示があった人は、速やかに医療機関を受診し、結果を健康サポートセンターまで提出してください。
- ・血圧や視力の再測定など、後日改めて健康サポートセンターに来室するよう指示があった人は、指定の期間内に必ず来室してください。
- ・学内の健康診断を受けた人は、『健康診断証明書』が証明書発行機で発行できます。
- ・学内で受診しなかった人は、個人負担(5,000～10,000円程度)で健康診断を受け、結果を提出してください。**(学外で受けた場合は、『健康診断証明書』は発行できません。)**



健康サポートセンターでは、みなさんの健康をサポートしています。
★健康サポートセンターHP バーコード⇒

